

相談案件照会票

顧客情報

区分	個人	登録タイプ	公開	案件タイプ	事務所
氏名 (カナ)	下斗米秀之進 シモトマイヒデノシン			担当者	遠山金四郎
略称	下斗米秀之進				
電話番号1	0172-22-0000	電話番号2		FAX番号	0172-24-0000
住所	〒036-8093 青森県弘前市城東中央 1 - 1 - 1				
メモ	相馬大作こと下斗米秀之進 寛政元(1789)年、盛岡藩二戸郡福岡村(二戸市)に生まれた				

案件情報

案件名	御加増問題	カテゴリー	一般法律相談	初回相談日	2007.8.4
案件概要	天明4(1784)年に、盛岡藩十一代藩主となった南部利敬(としたか)は、蝦夷地(北海道)警護への功績と藩政推進の助けになるという理由で官位昇進運動を展開し、文化元(1804)年、それまでの従五位下(じゅごいのげ)から四品(しほん・四位)に昇進します。ところがこの運動を展開するなかで文化2(1805)年、弘前藩九代藩主の津軽寧親(やすちか)が4万6,000石から7万石に高直しされました。このことに不満を抱いた利敬は、蝦夷地永久警護を条件に高直し運動を行い、盛岡藩は文化5(1808)年に20万石に高直しされ、利敬は侍従に任官します。しかし弘前藩も同じ日に、蝦夷地警護の功によって10万石に高直しされます。このことが「相馬大作事件」の引き金となります。				

相談履歴

相談日	時間	件名	場所
対応者 内容			
2007.8.10	18:00-20:00	幕府勘定方との折衝について	事務所
遠山金四郎 松平鶴二郎			
当時の江戸市民は秀之進の行動に大いに感動し、事件は講談や小説の題材としてもてはやされました。幕末の水戸藩の尊皇攘夷論者で西郷隆盛や橋本左内(さない)らに強い影響を与えた藤田東湖(とうこ)はその義烈をたたえ、長州藩の吉田松陰は長歌を詠じて秀之進を追慕しています。			
2007.8.4	19:35-20:00	幕府高直し推進の働きかけについて	事務所
遠山金四郎 松平鶴二郎			
寛政元(1789)年、盛岡藩二戸郡福岡村(二戸市)に生まれた秀之進は、18歳で江戸に出て名剣士として知られていた紀州藩士平山行蔵の門下となり武道に精進、四傑の一人と呼ばれるほどに腕をあげて帰国し、郷里・福岡に講武場兵聖閣を設けて武術の教授を始めます。そんな矢先の文政3(1820)年、盛岡藩主利敬(としたか)が39歳の若さで世を去り、遺領を利用(としもち)が継ぎます。利敬の早すぎる死は、弘前藩に対する積年の鬱憤が原因といわれます。この当時、利用はまだ14歳で無位無官、それに対してもともと家臣筋とみられていた津軽寧親は従四位下(じゅしいのげ)侍従に叙任されています。このことに不満を抱いた秀之進は、寧親に果たし状を送って辞官隠居を勧め、それが聞き入れられないときには「侮辱の怨を報じ申すべく候」と暗殺を伝えます。			
2007.8.6	17:00-20:00	幕府高直し推進の働きかけについて	事務所
遠山金四郎 松平鶴二郎			
文政4(1821)年、秀之進は江戸から帰国途中の寧親を秋田藩白沢駅(大館市)付近で狙撃しようと計画しますが仲間の密告によって失敗、藩を出奔(しゅっぱん)して江戸に逃れ「相馬大作」と名を変えますが、同年幕吏に捕らえられ翌年獄門の刑に処せられます。しかしこの事件によって寧親は隠居に追い込まれたことから、結果的には秀之進の目的は達せられたということになります。			